

平成21年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

3目 図書館費

図書館（電話：0857-26-8155）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)鳥取県立図書館開館20周年記念事業	1,355	0	1,355				1,355	

トータルコスト	4,669千円（前年度：0千円）							
---------	------------------	--	--	--	--	--	--	--

従事する職員数	正職員：0.4人							
---------	----------	--	--	--	--	--	--	--

主な業務内容	これからの県立図書館の役割・活動と県内図書館ネットワークの維持・発展を考えるシンポジウムの開催。資料展示・おはなし会などの各種イベントの実施。							
--------	---	--	--	--	--	--	--	--

事業内容の説明

1 事業の概要

現県立図書館の開館20周年（平成2年10月開館）を記念し、地域の情報基盤としての県立図書館の役割・機能について、改めて検証するシンポジウムを開催するとともに20年の歩みを検証する展示等の各種イベントを実施する。

2 事業費

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
20周年記念シンポジウム『ディスカバー図書館 in とっとり』	782	○開館20周年記念シンポジウム『ディスカバー図書館 in とっとりⅡ』～知の地域づくりの実践と図書館の果たすべき役割～（仮題） これからの図書館に求められるものを県民とともに検証する。 ・記念講演 ・パネルディスカッション 「図書館は私たちの暮らしをどう変えてゆくか」 「図書館は地域自立の砦～図書館のポテンシャルを引き出そう～」
開館20周年記念イベント	573	①県立図書館20周年記念資料展示「鳥取県の図書館のあゆみ」（仮題）の実施 ②『大人のためのお話会』（仮称）の実施 ③『子どもための科学教室』（仮称）の実施 ④『図書館探検隊、館内ツアー&オリエンテーリング』（仮称）の実施

平成21年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課（内線：7519）

1目 社会教育総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)家庭での読書活動支援事業	1,832	0	1,832				1,832	
トータルコスト	4,318千円（新規）							
従事する職員数	正職員：0.3人							
主な業務内容	関係先との連絡調整、書籍の購入等							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
職場及び通学中において気軽に本に触れられる機会を提供することにより、家庭での読書を習慣づける契機とする。								
2 事業費								
（単位：千円）								
区 分	予算額	事業内容						
企業文庫支援事業	1,067	家庭での読書を支援するため、家庭教育推進協力企業と連携して企業文庫を整備する。 ○東中西部地区の家庭教育推進協力企業に対して、絵本や児童書、ベストセラー本50冊を1セットとして貸出す。 （3地域3企業の9企業でモデル的に実施） ○企業は事業所内に貸出された本を設置し、従業員へ本を貸出す。貸出簿を設け、本の貸出の状況を把握する。 ○2ヶ月経過ごとに、貸出している本を別の50冊と入れ替える。 ○貸出図書については、県立図書館の所有本（主に絵本や児童書）と新たに購入する図書を、市町村立図書館を経由して、企業に貸出す。						
本のあるまちづくり支援事業	765	若桜鉄道と連携して、駅舎に図書を整備することで、待合時間や乗車時間を利用して読書ができる環境を整備する。 ○若桜鉄道の若桜駅、丹比駅の駅舎に各100冊程度の絵本や中・高校生向けの図書、駅のイメージに合った図書コーナーを整備する。 ○駅舎の本は、列車内に持ち込み、下車時に返却可能。 ○図書の配置は、駅舎に職員が常駐する若桜駅と沿線の中学生が最も多く利用する丹比駅の2駅とする。 ○両駅とも、鍵のかかる書架とし、沿線住民に開錠、施錠、監視を依頼する。（有償ボランティア） 利用時間（例）若桜駅 8:00～17:00（若桜鉄道職員常駐） 丹比駅 16:00～17:30（ボランティア常駐） ○若桜鉄道職員、若桜町、八頭町両図書館に本の点検と修繕、資料の充実に協力してもらう。						

平成 2 1 年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課（内線：7519）

5目 青少年社会教育施設費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 船上山少年自然の家ダム湖利用整備事業	2,480	0	2,480				2,480	
トータルコスト	3,309千円（前年度 0千円）							
従事する職員数	正職員：0.1人							
主な業務内容	船上山ダム湖活動のためのカヌー等の整備							

事業内容の説明

1 事業の概要

平成16年に船上山ダムが完成し、以前から要望のあったダム湖を利用した活動を行うための整備を行う。

2 事業費

（単位：千円）

区分	金額	内 容
カヌーの整備	1,949	カヌー(1人乗) 15艇 カヌー(2人乗) 5艇
カヌー用品等の整備	531	パドル 25本、カヌー移動用カート(台車) 10台、 ライフジャケット(大) 7着、ライフジャケット(小) 25着 等

3 ダム湖での活動内容

- カヌー 1人乗り、2人乗りのカヌーを使つての活動
- いかだ遊び 5～6人程度がいかだに乗りダム湖内を移動
- ダム湖渡り フローティングロープをつたいながら対岸まで移動

カヌーを使った活動

ダム湖全景



平成21年度一般会計当初予算説明資料

10 款 教育費

6 項 社会教育費

博物館（電話：0857-26-8042）

4 目 博物館費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考									
				国庫支出金	起債	その他	一般財源										
(新)山陰海岸ジオパークの地形・地質を学ぶ講座開催費	1,099	0	1,099				1,099										
トータルコスト	1,928千円（前年度 0千円）																
従事する職員数	正職員：0.1人																
主な業務内容	教育普及事業																
事業内容の説明																	
<p>1 事業の概要</p> <p>山陰海岸ジオパークの対象区域にある浦富海岸や鳥取砂丘などの代表的なジオスポット（地質遺産見学地）を巡って観察・学習するなど、世界ジオパーク登録に向けて注目されている山陰海岸の貴重な地形・地質について、広く県民の理解を深める。</p>																	
<p>2 事業の内容 （単位：千円）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額</th> <th>事 業 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(1) 講座の開催 （年4回）</td> <td>208</td> <td>○バスツアーでジオスポットを学ぶ講座（1回） ・代表的な地形・地質のスポットをバスで移動しながら、貴重な特徴を観察 ○県内の地形や地質を学ぶ講座（2回） ・地形の成り立ちや、地質を構成する岩石などを学習 ○海中地形を学ぶ自然講座（1回） ・海の中にもぐり、山陰海岸の海中地形を観察</td> </tr> <tr> <td>(2) 講座に要する機 材等の整備</td> <td>891</td> <td>○参加者用図鑑、岩石用ハンマー ○顕微鏡用プロジェクター接続器 ○デジタルカメラ、小型ビデオカメラ</td> </tr> </tbody> </table>									区 分	予算額	事 業 内 容	(1) 講座の開催 （年4回）	208	○バスツアーでジオスポットを学ぶ講座（1回） ・代表的な地形・地質のスポットをバスで移動しながら、貴重な特徴を観察 ○県内の地形や地質を学ぶ講座（2回） ・地形の成り立ちや、地質を構成する岩石などを学習 ○海中地形を学ぶ自然講座（1回） ・海の中にもぐり、山陰海岸の海中地形を観察	(2) 講座に要する機 材等の整備	891	○参加者用図鑑、岩石用ハンマー ○顕微鏡用プロジェクター接続器 ○デジタルカメラ、小型ビデオカメラ
区 分	予算額	事 業 内 容															
(1) 講座の開催 （年4回）	208	○バスツアーでジオスポットを学ぶ講座（1回） ・代表的な地形・地質のスポットをバスで移動しながら、貴重な特徴を観察 ○県内の地形や地質を学ぶ講座（2回） ・地形の成り立ちや、地質を構成する岩石などを学習 ○海中地形を学ぶ自然講座（1回） ・海の中にもぐり、山陰海岸の海中地形を観察															
(2) 講座に要する機 材等の整備	891	○参加者用図鑑、岩石用ハンマー ○顕微鏡用プロジェクター接続器 ○デジタルカメラ、小型ビデオカメラ															
<p>3 所要経費</p> <p>1,099千円（講座開催に係る講師謝金・旅費、備品購入費等）</p>																	

平成21年度一般会計当初予算説明資料

10 款 教育費
6 項 社会教育費
4 目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8042）
(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) 収蔵スペース確保事業	1,531	0	1,531				1,531	
トータルコスト	22,244千円（前年度 0千円）							
従事する職員数	正職員：2.5人							
主な業務内容	既存資料等の整理作業、資料の電子化作業							

事業内容の説明

1 事業の概要

博物館の収蔵資料の収蔵スペースに余裕がなくなってきたことに対応するため、資料等の館外保管、収蔵庫内の整理、収納棚等の増設等により、収蔵スペースを確保しようとするもの。

【基本方針】

- (1) 資料等の館外保管の促進
- (2) 収蔵庫内の整理、収納棚等の増設による収蔵容量の拡大
- (3) 図書室蔵書の整理、書架の増設による収蔵容量の拡大

2 事業の内容

【全体計画】

基本方針	平成21年度	平成22年度	平成23年度
<その1> ・資料・機材の館外保管の促進	資料・機材の移送 旧鳥取農業高等学校農産園芸実習棟改修(営繕費)	資料・機材の移送	
<その2> ・収蔵庫内の整理、収納棚等の増設		古文書書庫内の整理・再配置 閲覧室の図書棚の増設・資料再配置	資料収納庫等の増設・資料再配置 荷解場に保管棚を新設
<その3> ・図書室蔵書の整理、書架の増設		蔵書整理	書架増設・図書再配置

【平成21年度実施内容】

項 目	概 要
資料・機材の移送	・旧鳥取農業高等学校農産園芸実習棟を改修した倉庫で保管可能な資料・機材を博物館から移送
旧鳥取農業高等学校農産園芸実習棟改修(営繕費)	・防湿対策のための木製床新設 ・大型資材搬入用シャッター設置 ・資料保護のための遮光用暗幕設置
古文書書庫内の整理	・棚に平積み中の古文書を文書専用箱に入れて収蔵可能量を増大
閲覧室の図書棚の増設	・閲覧室の図書収蔵容量を増やすとともに、辞書や郷土資料を配架し、県民が自由に利用できる体制を整備する

3 所要経費

1, 531千円（資料整理作業員賃金、閲覧室の図書棚購入費、事務費等）

平成 2 1 年度 一般会計当初予算説明資料

10 款 教育費

4 項 高等学校費

教育環境課（内線：7913）

3 目 施設設備整備費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考													
				国庫支出金	起債	その他	一般財源														
県立高等学校図書館環境整備事業費	2,291	2,410	△119				2,291														
トータルコスト	3,948千円（前年度4,138千円）																				
従事する職員数	正職員：0.2人																				
主な業務内容	仕様の検討、納品検査、支払い																				
事業内容の説明																					
<p>1 事業の概要</p> <p>学校図書館を温かく親しみやすい場所とするため、県産材を活用した書架を整備する。年次的に整備を行っており、本年度は鳥取東高校、岩美高校の2校に整備する。</p>																					
<p>2 所要経費</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>規格</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">鳥取東</td> <td>直立複式2連5段 W1800×D450×H2100</td> <td>8台</td> </tr> <tr> <td>直立複式2連5段 W1800×D445×H1450</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">岩美</td> <td>直立複式2連4段 W1800×D270×H1100</td> <td>1台</td> </tr> <tr> <td>直立複式2連4段 W1800×D270×H1100</td> <td>1台</td> </tr> </tbody> </table>									学校名	規格	数量	鳥取東	直立複式2連5段 W1800×D450×H2100	8台	直立複式2連5段 W1800×D445×H1450	1台	岩美	直立複式2連4段 W1800×D270×H1100	1台	直立複式2連4段 W1800×D270×H1100	1台
学校名	規格	数量																			
鳥取東	直立複式2連5段 W1800×D450×H2100	8台																			
	直立複式2連5段 W1800×D445×H1450	1台																			
岩美	直立複式2連4段 W1800×D270×H1100	1台																			
	直立複式2連4段 W1800×D270×H1100	1台																			
<p>3 参考</p> <p>[利用者の声]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県産材を使用した書架であるため、見た目にも和やかであり、図書室全体が明るく落ち着いた雰囲気になった。 ○以前の鉄製高書架から安定感のある木製低書架に変わり、安全性や見通しのよさ、書籍の探しやすさが改善された。 <p>[利用実態への影響]</p> <ul style="list-style-type: none"> ○明るく快適な図書室環境が整備され、休憩時間はもとより、放課後にも利用する生徒が増えた。 ○図書室の見通しがよくなり、授業で利用する際にも生徒に指示が通りやすくなった。 ○教員の目が行き届きやすく、調べ学習がスムーズに行えるようになった。 																					

平成 2 1 年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課（内線：7519）

1目 社会教育総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
自主的な生涯学習活動支援事業	1,000	2,500	△1,500				1,000	

トータルコスト 3,486千円（前年度11,273千円）

従事する職員数 正職員：0.3人

主な業務内容 補助金申請・実績報告の審査、補助金の支払い

事業内容の説明

1 事業の概要

日頃、公民館等で生涯学習活動をしている団体等が成果発表をする事業に対し、開催経費を支援し、団体等の活動の拡大と県民への周知を図る。

※鳥取県生涯学習フェスティバル開催事業（H18～H20）の後継事業

2 事業費

（単位：千円）

区 分	予算額	内 容	
生涯学習団体等への支援	1,000	補助対象団体	公民館等を活動拠点としている団体 （文化振興事業の対象となる団体は対象外）
		補助対象事業	①複数の市町村の異なる分野の団体が集まってステージ発表、作品展示などを行う小規模フェスティバル ②県または地区を対象に、同じ分野の団体が集まってステージ発表、作品展示などを行う小規模フェスティバル
		補助対象経費	会場借上代、チラシ印刷などの事務費等
		補助金額	100千円×10団体

平成21年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課（内線：7519）

1目 社会教育総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
生涯学習情報提供事業	8,746	9,225	△479			15	8,731	
トータルコスト	15,374千円（前年度15,678千円）							
従事する職員数	正職員：0.8人、非常勤職員：1人、臨時職員：0.3人							
主な業務内容	情報の登録・管理、広報誌の編集・発行等							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要 県民の生涯学習への取組を支援するため、生涯学習に関する情報を、インターネット・広報誌等により発信する。</p>								
<p>2 事業費 （単位：千円）</p>								
区 分	予算額	内 容						
生涯学習情報提供システム事業	2,417	○「とっとり県民学習ネット」による情報提供 ・インターネット「とっとり県民学習ネット」で最新の生涯学習情報（講座情報・人材情報・仲間情報など）を提供。 ・団塊の世代の社会参加を促進することも考慮し、教員OBなどに人材情報への登録を呼びかける。 ・新聞広告等を活用し、生涯学習情報（県生涯学習フェス、読書フォーラムなど）を効果的に提供。						
ビデオ収録事業	2,414	○トリピー放送局によるビデオ配信 ・各種講座・研修会をビデオ収録し、インターネット「トリピー放送局」で配信することにより在宅学習を推進する。 ・県民が自作した動画学習教材等の発表を可能とし、新たな学習発表の場を広げる。						
「生涯学習とっとり」事業	3,915	○広報誌「生涯学習とっとり」の発行 年6回 各4,500部発行 ・インターネットを使えない高齢者に対し、ペーパーによる学習情報を定期的に提供する。 ・公共機関や金融関係などの待合室に配置し、県民が直接手にとって情報を得る機会を提供する。 ・講座情報だけでなく、生涯学習に関する県の取組なども盛り込み、県民の生涯学習のきっかけとしての効果をねらう。						

平成21年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課（内線：7519）

1目 社会教育総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他 (諸収入)	一般財源	
とっとり県民カレッジ事業	10,901	10,810	91			915	9,986	
トータルコスト	24,986千円（前年度22,872千円）							
従事する職員数	正職員：1.7人、非常勤職員：1人、臨時職員：0.2人							
主な業務内容	主催講座の企画・実施、入学者の募集・管理、連携機関との調整等							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要 県民を生涯学習へいざなうため、そのきっかけづくりとして、総合的・体系的な学習機会や場の確保を行なう。</p>								
<p>2 事業費 （単位：千円）</p>								
区分	予算額	内 容						
講座開催費	5,556	○主催講座の開催 ・「未来をひらく鳥取学」の座学コース（10講座）、専門コース（3講座）を開催し、受講生を募集する。 ・放送利用コースとして、テレビ・ビデオ・インターネットを利用して収録した講座等を視聴できるように、在宅学習を支援。 ○他講座との連携 ・他機関、団体が実施する学習講座を連携講座として認定。						
入学者管理費	5,053	○学習奨励 ・単位取得に応じて「奨励賞」、「とっとりマナビスト」、「とっとりマスター」の称号等を授与し、学習意欲の向上を促進。 ○とっとり県民カレッジ「学友会」への支援 ・自主的に学習を深める有志の学友会の活動への支援。						
企画運営費	292	○運営委員会の開催 ・とっとり県民カレッジの企画運営について検討する。 委員数8名 年3回開催						

平成21年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

図書館（電話：0857-26-8155）

3目 図書館費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
くらしに役立つ図書館推進事業	5,571	5,396	175				5,571	
トータルコスト	31,255千円（前年度：30,122千円）							
従事する職員数	正職員：3.1人							
主な業務内容	委員会の開催、講座・講演会等各種事業実施、スキルアップのための研修受講等							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
<p>図書館が所蔵する多種多様な資料や機能、専門職としての司書職員の能力を最大限に活用し、地域の情報拠点・知の拠点として、県民の求める情報要求に応え、「個人の自立」、「地域の自立」の一環として県民の仕事や生活に役立つサービスを提供する。</p>								
2 事業費								
（単位：千円）								
区分	予算額	事業内容						
各種検討委員会の設置	276	○医療・健康、法律情報等の各関連機関の専門家のアドバイスを受け、各種事業内容の検討を行い、より県民に役立つサービスを提供						
情報提供機能の強化	1,537	○商業分野・農業分野・官報、健康情報、法律・判例情報が検索可能な商用データベースを継続導入 ○各種文献情報が検索できるデータベースに、医学や看護学等を含む科学技術全般の情報が検索可能なものを追加						
広報活動の強化	1,828	○「健康情報サービス講演会（仮称）」の開催 ○仕事応援講座（仮称）の開催 ○館内展示の積極的な実施 ○出前図書館・各種催物への出展						
スキルアップのための専門分野別研修受講	1,930	○医療健康・法律・ビジネス情報関連分野 ○児童サービス関連分野 ○郷土・歴史・文学関連分野 ○司書職の資質向上に関する分野						

平成21年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

図書館（電話：0857-26-8155）

3目 図書館費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	財産収入	その他	一般財源	
郷土情報発信事業	12,046	8,676	3,370		50	諸収入 13	11,983	
トータルコスト	36,901千円（前年度：31,716千円）							
従事する職員数	正職員：3.00人、非常勤職員：1.00人							
主な業務内容	郷土関係各事業の実施、郷土カウンターにおける利用者対応等							

事業内容の説明

1 事業の概要

すぐれた郷土資料（地域資料）の収集・保存を進め、その普及・啓発を行う。
また、郷土関係文学者の情報を発信するとともに、それらの利用促進を図るため、郷土関係資料のデータベース化を推進する。

2 事業費

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
ふるさとの歴史再発見事業	1,644	○郷土出身者顕彰展「則武三雄生誕100年記念展示」 ○市町村立図書館と連携し郷土関係資料の普及展示会（「橋浦泰雄」「鳥取大火」など） ○郷土文化講演会「農村日誌にみる鳥取の歴史」（仮題） ○鳥取県に伝わる昔話を聞く会
郷土文学者情報発信事業	3,934	○小冊子「郷土出身文学者シリーズ（6）“生田長江”」の作成と配布 ○郷土出身文学者の資料調査・収集、研究
「文字・活字文化の日（10/27）」記念事業	37	○文字・活字文化に関する郷土資料展 ※開館20周年記念事業に集約 ○「文字・活字文化の日」記念講演会（出版文化賞記念講演会） 「ブックインとっとり」事業とタイアップして実施
地域資料データベース等サービス事業	6,431	○地元新聞記事検索サービスの提供 ○県内の研究機関等の発行する研究誌のデータベース化 ○日本海新聞5カ年分及び明治期の新聞約2カ年分のマイクロフィルム化

平成21年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

図書館（電話：0857-26-8155）

3目 図書館費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
市町村・学校図書館協力支援事業	6,441	6,308	133				6,441	
トータルコスト	26,325千円（前年度：24,497千円）							
従事する職員数	正職員：2.4人、非常勤職員：1.7人							
主な業務内容	市町村・学校図書館支援各種事業実施							

事業内容の説明

1 事業の概要

市町村図書館、高等学校・特別支援学校、大学図書館、類縁機関に対し、資料提供や研修機会の提供を行い、県全体の図書館サービスの高度化を図るとともに、関係機関のネットワーク維持の要としての役割を果たす。

2 事業費

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
県立図書館資料等の配送・回収事業	4,834	○市町村・高等学校、特別支援学校、大学図書館等への巡回相談・協力図書配送等 ○個人・高等学校・大学等から要望のあった図書の宅配による貸出
巡回相談事業	213	○市町村、高等学校、特別支援学校への巡回相談（年2回）
図書館職員研修事業	910	○図書館業務専門講座（年4回） ○高等学校図書館司書研修会（年2回） ○図書館司書実務研修会（年3回）
地域の図書館情報発信事業（予算計上なし）	0	○地域図書館の展示を県立図書館で開催 ○県立図書館の企画展示を地域図書館・学校図書館で開催
県民の図書館利用研修会	142	○市町村、高等学校、特別支援学校等における「図書館活用セミナー」の実施 ○（新規）図書館・博物館の見学啓発用チラシの作成
図書館大会開催	342	○鳥取県図書館大会（年1回、鳥取県図書館協会と共催）

平成21年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

図書館（電話：0857-26-8155）

3目 図書館費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
図書館運営費	235,124	234,822	302			基金繰入金 5,000 諸収入 556	229,568	

トータルコスト 356,085千円（前年度：343,597千円）

従事する職員数 正職員：14.6人、非常勤職員：9.3人

主な業務内容 図書館運営全般に係る業務

事業内容の説明

1 事業の概要

県立図書館の管理運営、資料整備を行う。

2 事業費

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容																																			
図書館管理運営費	129,936	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館協議会開催(年2回) ○施設設備の維持管理等 ○図書館業務の管理運営等 ○図書館システムの管理運営等 																																			
資料購入整理費	105,188	<ul style="list-style-type: none"> ○図書館資料整備 ・資料購入整備 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>冊数</th> <th>単価</th> <th>金額</th> </tr> <tr> <td></td> <td>冊</td> <td>円</td> <td>千円</td> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般図書 (児童図書を含む)</td> <td>22,140</td> <td>1,400 ～ 4,000</td> <td>83,000</td> </tr> <tr> <td>郷土資料</td> <td>500</td> <td>2,500</td> <td>1,250</td> </tr> <tr> <td>協力図書</td> <td>2,500</td> <td>1,700</td> <td>4,250</td> </tr> <tr> <td>A V 資料</td> <td>400</td> <td>3,500</td> <td>1,400</td> </tr> <tr> <td>点字図書</td> <td>500</td> <td>1,100</td> <td>550</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>26,040</td> <td></td> <td>90,450</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・滞貨寄贈資料の整理・受入 ○逐次刊行物資料整備 ○資料整理用経費等 				区分	冊数	単価	金額		冊	円	千円	一般図書 (児童図書を含む)	22,140	1,400 ～ 4,000	83,000	郷土資料	500	2,500	1,250	協力図書	2,500	1,700	4,250	A V 資料	400	3,500	1,400	点字図書	500	1,100	550	合計	26,040		90,450
区分	冊数	単価	金額																																		
	冊	円	千円																																		
一般図書 (児童図書を含む)	22,140	1,400 ～ 4,000	83,000																																		
郷土資料	500	2,500	1,250																																		
協力図書	2,500	1,700	4,250																																		
A V 資料	400	3,500	1,400																																		
点字図書	500	1,100	550																																		
合計	26,040		90,450																																		

○債務負担行為

無断持出防止装置システムのリース（契約期間 H21～H26）

図書館の無断持出防止装置システムの機器を更新する。

要求総額 7,301千円（H21～H26）

【債務負担行為要求総額 5,962千円（H22～H26）】

平成21年度一般会計当初予算説明資料

10 款 教育費

6 項 社会教育費

4 目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8042）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	諸収入	その他	一般財源	
企画展開催費	79,085	85,896	△6,811			(使用料) 9,600	69,485	
トータルコスト	108,911千円（前年度：124,558千円）							
従事する職員数	正職員：3.6人、非常勤職員：6.7人							
主な業務内容	企画展の開催							

事業内容の説明

1 事業の概要

鳥取県の自然・歴史・美術に関するものや世界的・全国的に貴重なものについて、資料、作品と研究成果等を、企画展として広く県民に紹介する。

2 事業の内容

（単位：千円）

企画展名	予算額	会 期	内 容
京の日本画	10,235	平成21年 4月4日～ 5月10日	<ul style="list-style-type: none"> 京都画壇に関して日本屈指のコレクションをもつ京都国立近代美術館と京都市美術館の名品によって京都の日本画の流れを紹介する展覧会。 竹内栖鳳、上村松園などの80点の名品によって近代京都の日本画の精華を紹介するとともに関連する県内の日本画家の作品も紹介する。
ベルギー近代 絵画のあゆみ ー印象派から フォーヴへー	30,052	平成21年 7月22日～ 8月30日	<ul style="list-style-type: none"> ベルギー最大かつ最高の美術館として知られるベルギー王立美術館のコレクションによってバルビゾン派、印象派、フォーヴィスムに至るヨーロッパ近代絵画の流れを紹介する展覧会。 コロー、クールベ、シスレー、ルノアール、ゴッコン、マティスなど日本でもよく知られた画家による70点の作品によって近代絵画の流れをたどる。
挑戦！ 頭脳 パズルボック ス	17,226	平成21年 10月10日～ 11月8日	<ul style="list-style-type: none"> 「数学」という抽象的なテーマを子どもから大人まで楽しみながら学べる体験型の展覧会。 観覧者・体験者の興味を引き出し、楽しく理解を深めるようにするため、確率やコンピュータ、建築などのテーマを取り上げ、約20種の体験型展示物を用いて紹介する。
前田昭博 白 瓷の造形	14,587	平成21年 11月21日～ 12月20日	<ul style="list-style-type: none"> 現代日本を代表する陶芸家の一人として近年高く注目されている本県出身の前田昭博の作品を紹介する展覧会。 「白に憑かれた陶芸家」ともいうべき前田の白磁の展開を初期から近作にいたる100点余の作品で概観する。
新 収 蔵 品 展 (仮称)	6,985	平成22年 1月16日～ 2月14日	<ul style="list-style-type: none"> 平成以降新たに収蔵した貴重な考古・歴史・民俗部門資料を紹介する展覧会。 展覧会を通じて、資料の調査研究、整理と公開という博物館活動を、県民に知ってもらえる機会にするとともに、収蔵品データベースなどと組み合わせて全国に情報発信する。
合 計	79,085		

3 債務負担行為 平成22年度 88,000千円

企画展名 (いずれも仮称)	会期
写生派の絵師 楊谷と元旦	平成22年 5月18日～ 6月20日
太古からの使者 シーラカンス展	平成22年 7月17日～ 8月29日
生誕100年 彫刻家・辻晉堂展	平成22年10月 9日～11月14日
海に生きるー鳥取の海と人々のくらしの歴史絵巻	平成22年11月20日～12月26日
毛利 彰展	平成23年 2月26日～ 3月27日

平成21年度一般会計当初予算説明資料

10 款 教育費

6 項 社会教育費

4 目 博物館費

博物館（電話：0857-26-8042）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
博物館サービス向上事業 （開館延長）	2,734	4,507	△1,773				2,734	
トータルコスト	5,220千円（前年度：5,526千円）							
従事する職員数	正職員：0.3人、非常勤職員：0.6人							
主な業務内容	来館者対応、施設管理							

事業内容の説明

1 事業の概要

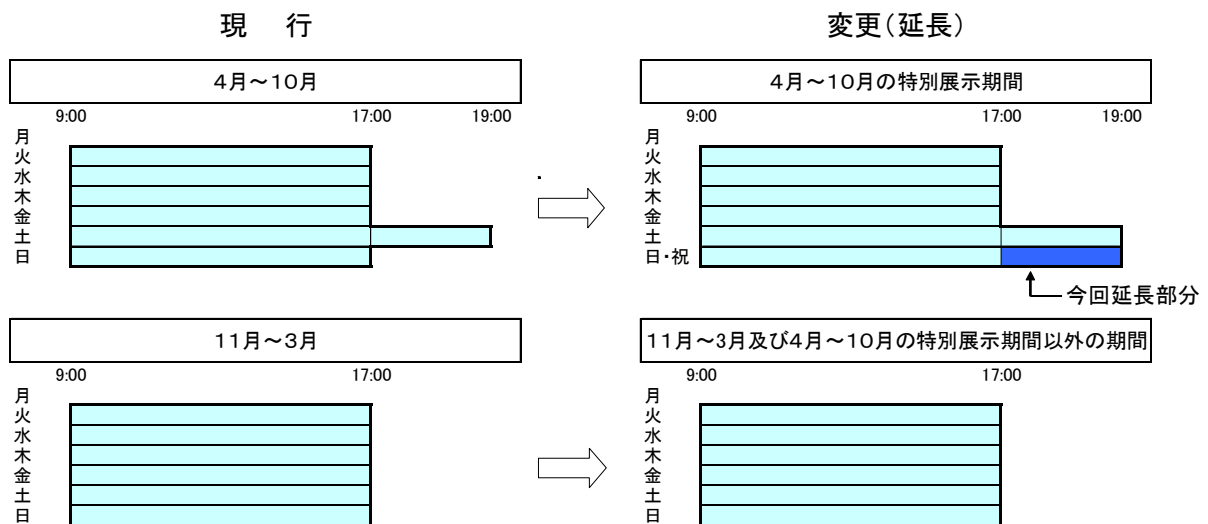
鳥取県立博物館の利用者の利便性の向上を図るため、4月から10月の特別展示の期間中の土、日、祝日の開館時間を通常より2時間延長するもの。

2 事業の内容

○ 博物館の開館時間を通常の午前9時から午後5時までを、4月1日から10月31日までの間における特別展示の期間中の土、日、祝日については、午後7時までと2時間延長する。

（4月1日から10月31日までの土曜日については、現在午後7時まで開館時間を延長）

○ 条例改正の上、平成21年4月から実施予定



3 所要経費

2,734千円（開館延長に伴う受付職員・展覧会看視員報酬、事務費等）

平成21年度一般会計当初予算説明資料

3款 民生費

1項 社会福祉費

障害福祉課 (内線：7866)

12目 障害者自立支援事業費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考												
				国庫支出金	起債	その他	一般財源													
障害者スポーツ振興事業	29,887	32,686	△2,799				29,887													
トータルコスト	38,172千円 (前年度 39,613千円)																			
従事する職員数	正職員：1.0人																			
主な業務内容	委託契約業務、委託事業所との連絡調整、その他事業進行管理業務																			
説明																				
1 事業の目的																				
積極的にスポーツに参加できる環境づくりや指導者の育成、各種スポーツ大会の開催などを通じて、障害者スポーツの振興に向けた総合的な取組に対して助成する。																				
2 事業の内容																				
(1) 鳥取県障害者スポーツ協会運営事業【7,452千円】																				
近年高まりつつある障害者スポーツのニーズに対応し、障害者スポーツの振興を促進する上で中核的役割を担う鳥取県障害者スポーツ協会の機能を強化するため、平成17年度に設置した専任非常勤職員(障害者スポーツ指導員)を常勤化し、障害者スポーツの発展に努める。																				
【変更点】																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>職員の身分</td> <td>専任非常勤職員</td> <td>専任常勤職員</td> </tr> <tr> <td>勤務形態</td> <td>17日</td> <td>21日</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>2,471千円</td> <td>3,315千円</td> </tr> </tbody> </table>									内容	変更前	変更後	職員の身分	専任非常勤職員	専任常勤職員	勤務形態	17日	21日	人件費	2,471千円	3,315千円
内容	変更前	変更後																		
職員の身分	専任非常勤職員	専任常勤職員																		
勤務形態	17日	21日																		
人件費	2,471千円	3,315千円																		
(2) 鳥取さわやか車いすマラソン&湖山池ハーフマラソン大会【2,176千円】																				
第20回大会を機に、障害者も健常者も参加できる大会に見直され、大会コースについても変更し実施されたが、大会コース周辺通行者等への周知が不足していたため、交通規制に対してトラブルが発生した。このことから、大会開催告知ラジオスポットCM等を開催前に集中的に行い大会の周知徹底を図る。																				
<ul style="list-style-type: none"> 大会開催経費補助金 2,000千円 【新規】ラジオスポットCM等経費 176千円 																				
(3) 全日本Challengedアクアスロン皆生大会【1,204千円】																				
本大会は、全国唯一の大会であることから、着ぐるみの制作経費を補助し、大会のPRや障害者対策への取組を啓発する。また、全国大会に拡大したことに伴い、大会開催経費の補助を拡大する。																				
<ul style="list-style-type: none"> 大会開催経費補助金 700千円 (前年度：500千円) 【新規】着ぐるみ制作経費補助金 504千円 (単年度事業) 																				
(4) その他の事業概要																				
(単位：千円)																				
事業名	予算額	事業内容																		
全国障害者スポーツ大会への選手団派遣等事業	14,075	夏季国民体育大会後に開催される「全国障害者スポーツ大会」への鳥取県選手団の派遣等事業の委託 21年度：新潟県開催 〔委託先：鳥取県障害者スポーツ協会〕																		
障害者スポーツ指導員養成事業	381	初級障害者スポーツ指導員の養成研修事業の委託 障害者スポーツ指導員数：152名 (H21.1.10現在) 〔委託先：鳥取県障害者スポーツ協会〕																		
障害者スポーツ指導員派遣事業	185	鳥取県障害者スポーツ指導者連絡協議会と連携して、障害者のスポーツ活動の場に障害者スポーツ指導員を派遣し、必要な指導等を行う事業の委託 〔委託先：鳥取県障害者スポーツ協会〕																		
スポーツ大会開催支援事業	3,341	各種スポーツ大会の開催に要する経費の補助 ① 鳥取県身体障害者体育大会 941千円 〔交付先：鳥取県身体障害者福祉協会〕 ② 鳥取手をつなぐスポーツ祭り 2,400千円 〔交付先：鳥取県手をつなぐ育成会〕																		
障害児・者スポーツ活動充実支援事業	400	県内で障害者スポーツ活動の実践、支援を行う団体に対して、継続活動・運営費を助成 〔交付先：鳥取県障害者スポーツ協会〕																		
標準事務費	673																			

平成21年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツセンター（電話：0857-31-2255）→事業実施：スポーツ振興課

4目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
スポーツによる情報発信・地域おこし支援事業費	17,229	12,929	4,300				17,229	
トータルコスト	19,715千円（前年度14,312千円）							
従事する職員数	正職員：0.3人							
主な業務内容	申請書の審査・補助金交付・確定検査							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
スポーツを通して鳥取県の情報発信や地域おこしを行うため、本県で生まれ育った全国的な大会や全国的なチームに対して助成する。								
2 事業費								
(1) 第21回鳥取オープンインドアテニス選手権大会運営事業								
鳥取県を全国にPRするため、国内最大規模のインドアテニス大会の運営費を補助する。								
補助対象者	鳥取オープン大会実行委員会							
補助率	定額							
予算額	1,270千円							
(2) ガイナーレ鳥取JFLアウェイゲーム遠征事業								
本県で生まれた山陰初のプロ球団の県外遠征費を支援することで、県民のガイナレ鳥取を応援する機運を盛り上げ、鳥取県を全国に情報発信する。（アウェイゲーム17試合）								
補助対象者	株式会社SC鳥取							
補助率	県2/3							
予算額	14,009千円							
(3) ガイナーレサッカースクール運営事業								
トップレベルの選手とふれあい、指導を受けることで、本県のサッカー水準・技術力の向上を図る。								
補助対象者	株式会社SC鳥取							
補助率	県1/2							
予算額	1,950千円							
【サッカースクールの概要】								
募集対象	小学生（年代別にクラス分け）							
指導回数	県内8ヶ所（東部3、中部2、西部3）で1ヶ所あたり約40回/年							
募集人員	1ヶ所あたり20～40人程度							

平成21年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツセンター（電話：0857-31-2255）→事業実施：スポーツ振興課

4目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
スポーツ・レクリエーション事業	16,366	14,888	1,478				16,366	

トータルコスト 27,965千円（前年度25,454千円）

従事する職員数 正職員：1.4人

主な業務内容 トリピーフェスタの開催、申請書の審査・補助金交付・確定検査

事業内容の説明

1 事業の概要

鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭を中心とした、本県の生涯スポーツの普及振興を図る事業を実施する。

2 事業費

（単位：千円）

区 分	予算額	事 業 内 容
全国スポーツ・レクリエーション祭派遣事業補助金	8,915	平成21年10月に宮崎県で開催される全国スポーツ・レクリエーション祭に、代表選手を派遣する。 ・派遣人数 177人 ・補助対象 旅費、参加料、ユニフォーム助成、事務費 ・実施主体 (財)鳥取県体育協会
鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭開催事業費負担金	5,525	・事業内容 38競技の運営・実施等 ・期 日 夏季大会 平成21年8月29日、30日 秋季大会 平成21年10月24日、25日 冬季大会 平成22年2月14日 ・負担対象 実行委員会費及び競技運営費 ・実施主体 鳥取県民スポーツ・レクリエーション祭実行委員会
みんなでスポーツ「スポレクトリピーフェスタ」兼鳥取県レクリエーション大会（仮称）	782	生涯スポーツやレクリエーション活動を基礎とした「スポーツ振興」「人づくり」が根付き、県民の生涯にわたる豊かなスポーツライフや健康づくりを目的に開催する。平成21年度からは、別開催であった「鳥取県レクリエーション大会」との同時開催に変更。 ・期 日 平成21年11月（予定） ・会 場 鳥取市
事務費	1,144	

平成21年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツセンター（電話：0857-31-2255）→事業実施：スポーツ振興課

4目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとり広域スポーツセンター事業	1,294	1,471	△ 177				1,294	

トータルコスト 4,608千円（前年度7,405千円）

従事する職員数 正職員：0.4人

主な業務内容 委員会・研修会の開催、各市町村・スポーツ団体との調整、旅費等の支払い

事業内容の説明

1 事業の概要

総合型地域スポーツクラブの育成・支援のための事業を実施する。

（現在の総合型地域スポーツクラブ数：31ヶ所（16市町、旧21市町））

— 総合型地域スポーツクラブとは —

- ・「誰でも」「世代を超え」「スポーツや文化活動」が地域で楽しめる「集える場」
- ・地域に住んでいる人が主体となって運営するクラブ
- ・一人ひとりが、いろいろな立場に関わり、支えていくクラブ
- ・地域で気軽に、スポーツ・レクリエーション活動に参加できるクラブ

2 事業費

（単位：千円）

区分	予算額	事業内容
企画運営委員会の開催	69	生涯スポーツの普及・発展及び総合型地域スポーツクラブの育成支援方針等の検討を行う。（年2回）
研修会の開催	333	安定したクラブ運営を行って行くために、クラブ運営の中心となるクラブマネージャーやクラブ関係者のための研修会を開催する。（年3回）
事務費	892	

平成21年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

7項 保健体育費

スポーツセンター（電話：0857-31-2255）→事業実施：スポーツ振興課

4目 スポーツ振興費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
競技力向上対策事業費	134,832	127,190	7,642			(基金繰入金) 4,000	130,832	
トータルコスト	147,978千円（前年度140,336千円）							
従事する職員数	正職員：1.7人							
主な業務内容	補助金配分額の決定・申請書の審査・補助金交付・確定検査							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
<p>本県スポーツの競技力向上を図るとともに、スポーツ活動をとおして県民に夢と感動を与える優秀な競技者を育成するため、競技団体が実施する各種強化事業に助成する。</p>								
2 事業費 （単位：千円）								
	区分	予算額	事業内容					
ジュニア強化	ジュニア指導者講習会事業	80,546	小・中・高の指導者が一堂に会する講習会を開催し、一貫指導システムの構築と指導者の資質向上を図る。					
	アドバイザーコーチ招へい事業		国内の優秀コーチを招へいし、定期的な指導を受ける。 (11競技、15人)					
	中学生選抜選手強化事業		優秀選手を選抜指定し、強化事業を実施する。 (25競技、340人程度)					
	高等学校部指定強化事業		高校の優秀な体育部を指定し、強化合宿等を実施する。 (30校、77部)					
	ジュニアクラブチーム育成・支援事業		ジュニアクラブチームを指定し、優秀なジュニア選手の発展及び強化を図る。(15競技、20クラブ)					
	少年国体等選手指定強化事業		少年選手を指定し、国体等に向けて県内外の強化事業を実施する。(37競技、450人程度)					
成年強化	成年国体等選手指定強化事業	33,876	成年選手を指定し、国体等に向けて県内外の強化事業を実施する。(34競技、280人程度)					
条件整備	安全管理対策事業	20,410	国体候補選手等のスポーツ安全保険料					
	医・科学サポート事業		筋力トレーニングを充実させるとともに、栄養指導等を含めたサポート体制を整えるために、講習会等を実施する。					
	強化練習用消耗品等対策事業		強化練習や国体参加に必要な運搬費等（ヨット、ボート、カヌー運搬費 等）					
	強化推進事業		競技団体との連絡・調整・指導等					

平成21年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

青少年・文教課（内線：7076）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
レクリエーション活動支援事業	2,208	2,948	△740				2,208	
トータルコスト	4,694千円（前年度4,927千円）							
従事する職員数	正職員：0.3人							
主な業務内容	補助金申請書・実績報告書の審査、補助金の支払い、連絡調整等							
事業内容の説明								
<p>1 事業の概要</p> <p>レクリエーションを県民、地域に定着させ、県民の豊かな余暇活動を推進するため、鳥取県レクリエーション協会が行う事業に対し助成を行う。</p> <p>2 主な事業内容</p>								
（単位：千円）								
区分	予算額	内容						
鳥取県レクリエーション大会開催支援	1,492	<ul style="list-style-type: none"> ・開催時期 平成21年11月（1日間） ・場 所 鳥取市（予定） ・内 容 種目別交流会（3B体操、ペタンク等20種目程度） ・参加予定者 約2,000人 ・実施主体 鳥取県レクリエーション協会 ・補助金額 1,492千円 ・補助率 3/4 <p>※スポレクトリピーフェスタ（県教委主催）と同時開催予定。</p>						
レクリエーション指導者養成講座支援	420	<ul style="list-style-type: none"> ・実施予定種目 ニュースポーツ4種目程度 ・実施主体 鳥取県レクリエーション協会 ・補助金額 420千円 ・補助率 1/2 						
事務費	296							

平成21年度一般会計当初予算説明資料

8款 土木費

5項 都市計画費

公園自然課 (内線: 7369)

3目 公園費

(単位: 千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
都市公園維持費	141,631	126,771	14,860				141,631	
トータルコスト	160,687千円 (前年度 145,116千円)							
従事する職員数	正職員: 2.30人							
主な業務内容	修繕計画の立案、指定管理者等との協議調整、工事の発注・入札、工事請負契約の締結・監督など							
事業内容の説明								
1 事業の概要								
都市公園施設について、安心・安全・利用者の利便性の向上を図るため、緊急性、必要性の高いものの維持補修等を実施する。								
2 事業内容及び事業費								
区分	金額	内容						
布勢総合運動公園	102,317							
	24,753	テニスコートの人工芝張替						
	17,952	野球場の放送設備改修						
	13,746	野球場及び球技場の外周フェンス改修						
	7,719	公園内下水道接続工事 (湖山池に対する環境負荷の低減、安定した汚水の処理などを図るため、平成20年度末に整備される公共マスへの公園内接続工事を行う。)						
	5,958	県民体育館2階玄関前デッキタイル改修						
	4,491	公園内の外灯改修						
	4,519	野球場通路部及び排水管の改修						
	6,646	球技場高圧受電盤遮断装置の取替 など						
	4,293	県民体育館天井崩落対策設計委託 (大規模空間の吊り天井にかかる耐震補強対策を検討する。)						
	12,240	陸上競技場の補償金等請求訴訟に係る裁判費用						
	東郷湖羽合臨海公園	17,790						
6,893		(藤津地区) トレーニング室エアコン改修						
4,043		(宇野地区) キャンプ場シャワー室改修						
燕趙園	6,854	(宇野地区) 灯浮標取替え、松食い虫対策 など						
	18,543							
	13,543	陰陽廊瓦葺き替え						
標準事務費	5,000	金山嶺橋の側溝修繕 など						
	2,981							
計	141,631							